

2024年8月 イーアイデム会員対象アンケート結果

TOPICS

「社会保険加入有無にはこだわっていない」非正規雇用希望者40.4%

株式会社アイデム
東日本事業本部 データリサーチチーム

調査名

- ▶【イーアイデム会員限定】お仕事探しに関するアンケート

調査目的

- ▶現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上・商品開発につなげる

調査対象

- ▶総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、2024/08/01～2024/08/31の期間にイーアイデムから何らかの求人に応募した人

調査期間

- ▶2024/08/01～2024/09/05（36日間）

調査方法

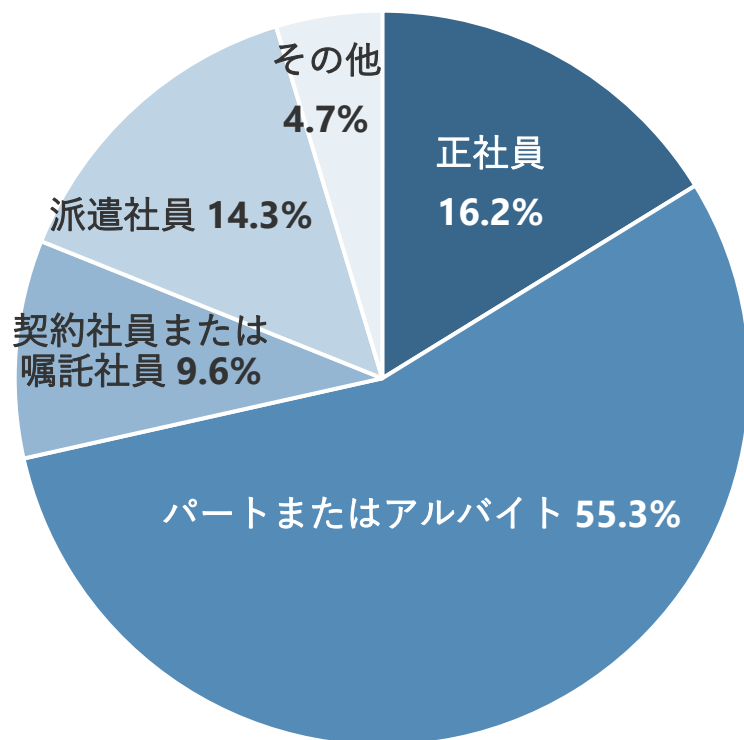
- ▶インターネットリサーチ

有効回答数

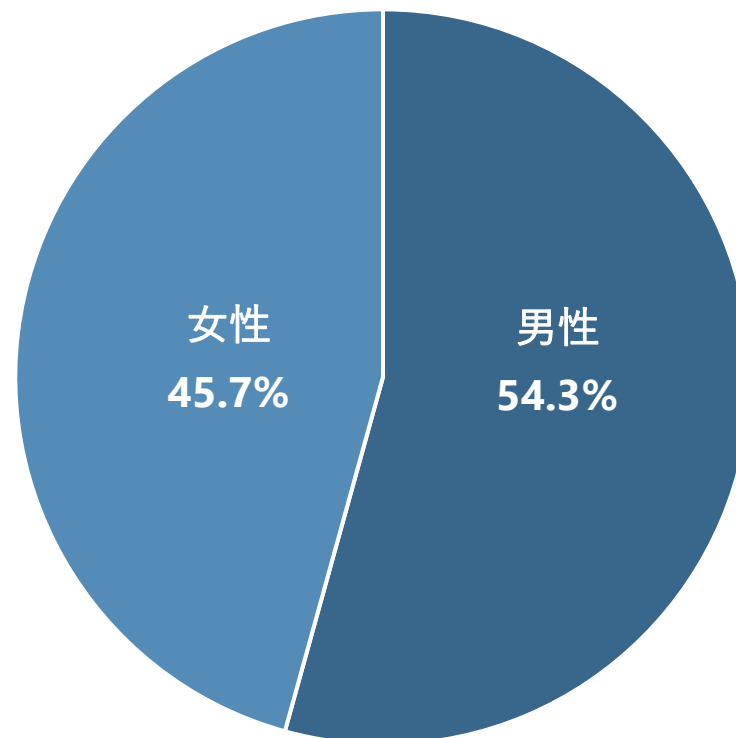
- ▶407件

※調査結果は四捨五入のために合計が100%にならない場合があります

希望する雇用形態



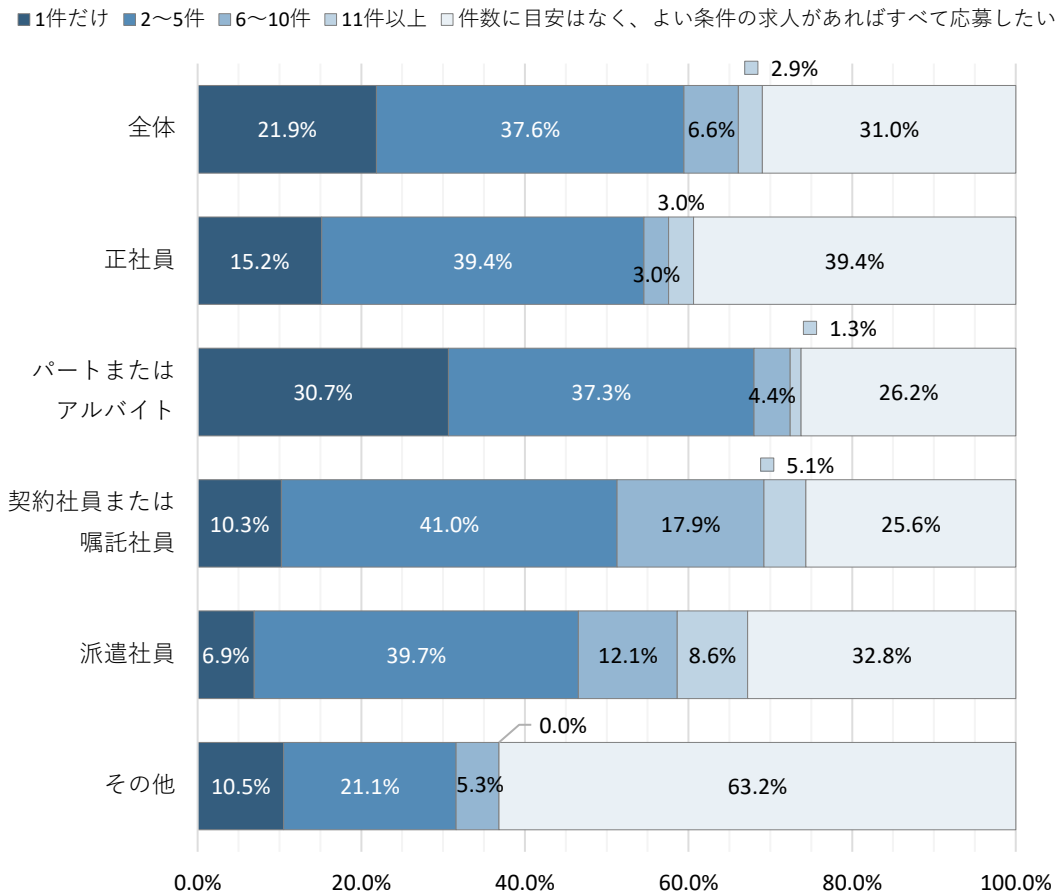
性別



イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、今回の求職活動期間の中で、求人に応募する件数の目安があるかどうかきいた。全体では、「2～5件」が最も多く37.6%、次いで「件数に目安はなく、よい条件があればすべて応募したい」が31.0%、「1件だけ」が21.9%、「6～10件」が6.6%、「11件以上」が2.9%となった。「1件だけ」以外を選んだ割合は全体の8割となった。

希望雇用形態別にみると、「正社員」では、「件数に目安はなく、よい条件の求人があればすべて応募したい」の割合は39.4%で、4割は目安を設けていないことがわかった。「パートまたはアルバイト」では「2～5件」応募するとした割合が37.3%、「1件だけ」が30.7%で、応募件数に目安を設けて活動している人が多いようだ。

今回の求職活動期間の中で、
およそ何件ほど応募しようと思いますか。



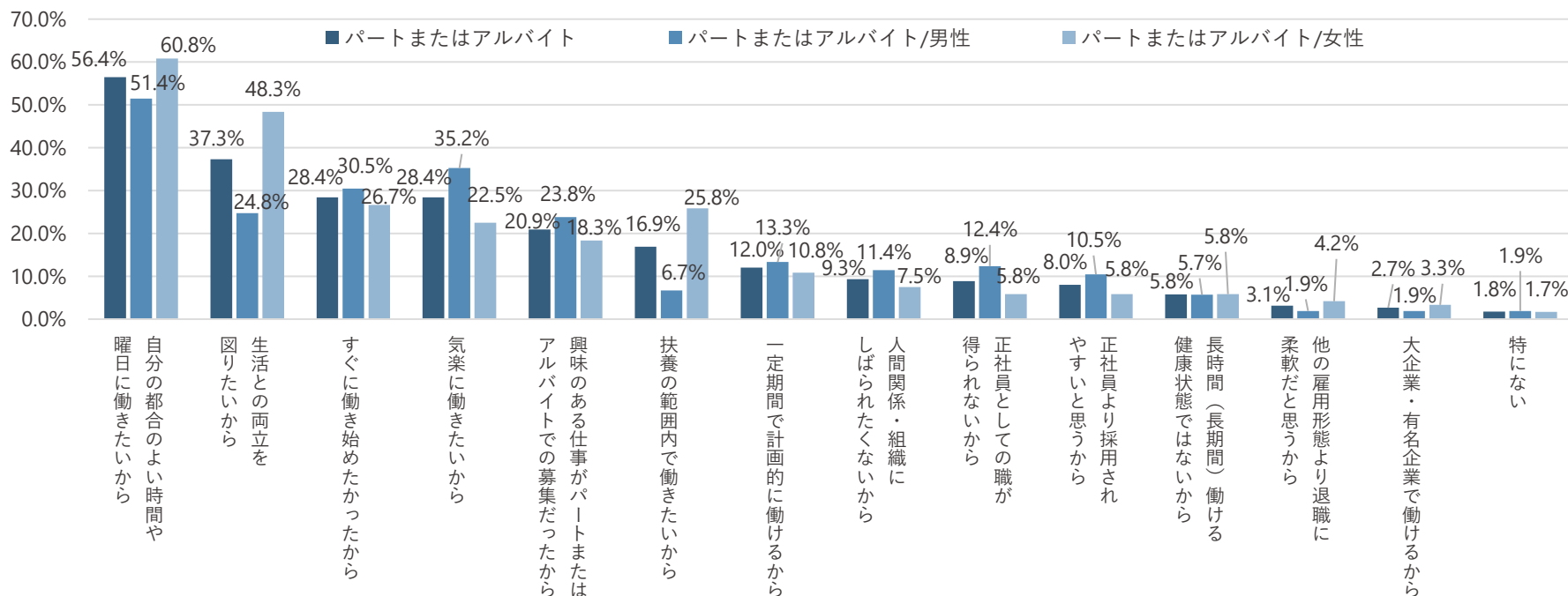
パート・アルバイトを希望する理由

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイトを希望する人に、なぜその雇用形態を希望するのかをきいた（複数回答）。最も多かったのは「自分の都合のよい時間や曜日に働きたいから」で56.4%、次いで「生活との両立を図りたいから」が37.3%、「すぐに働き始めたかったから」が28.4%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「気楽に働きたいから」が12.7pt高くなった。負担にならない働き方を選びたい人が、パート・アルバイトでの仕事を希望していることが多いようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「生活との両立を図りたいから」が23.5pt、「扶養の範囲内で働きたいから」が19.1pt、「自分の都合のよい時間や曜日に働きたいから」が9.4pt高くなった。家庭の仕事との兼ね合いでパートタイムを希望していたり、収入に目安を設けて仕事をしたい人が男性よりも多いことがわかる。

パートまたはアルバイトを希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。

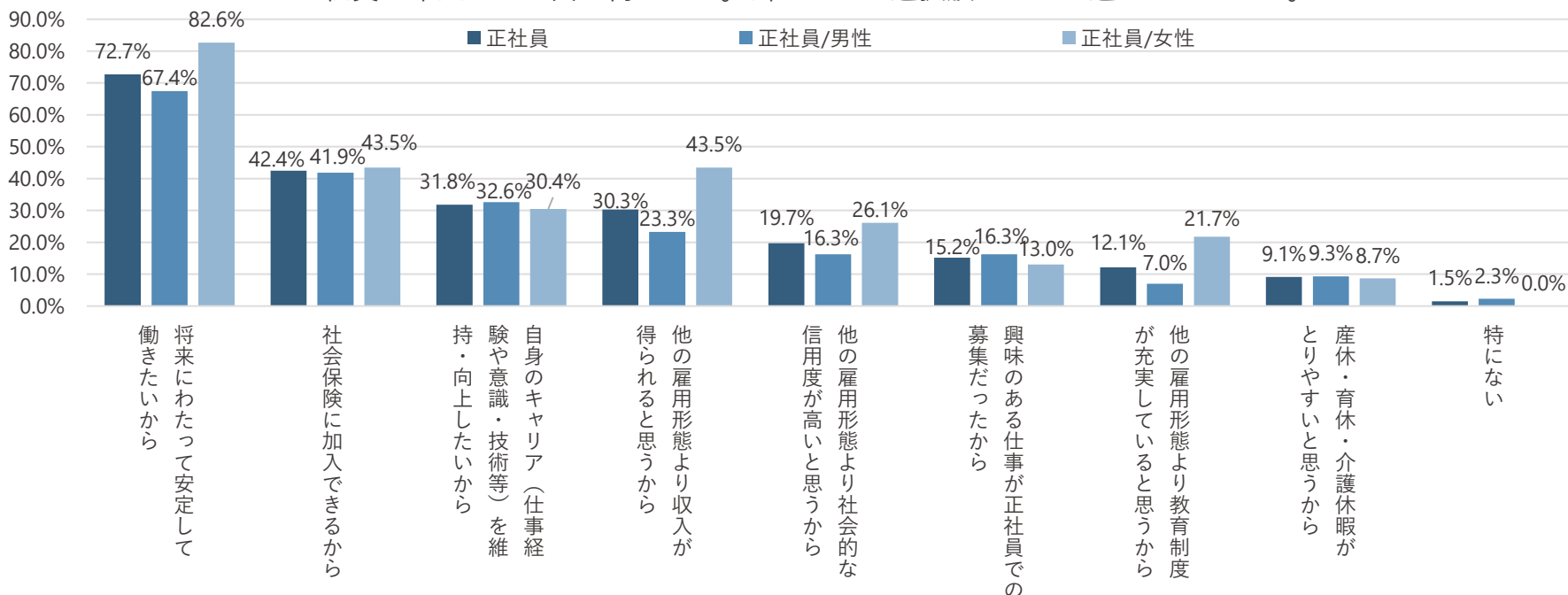


イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、なぜ正社員を希望するのかをきいた（複数回答）。最高値となったのは「将来にわたって安定して働きたいから」が72.7%、次いで「社会保険に加入できるから」が42.4%、「自身のキャリア（仕事経験や意識・技術等）を維持・向上したいから」が31.8%となっている。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも大きく高くなった項目はなかった。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「他の雇用形態よりも収入が得られると思うから」が20.2pt、「将来にわたって安定して働きたいから」が15.2pt、「他の雇用形態よりも教育制度が充実していると思うから」が14.7pt高くなった。収入と雇用のどちらも長く続く形で決めたいという思いが感じられる。

正社員を希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。

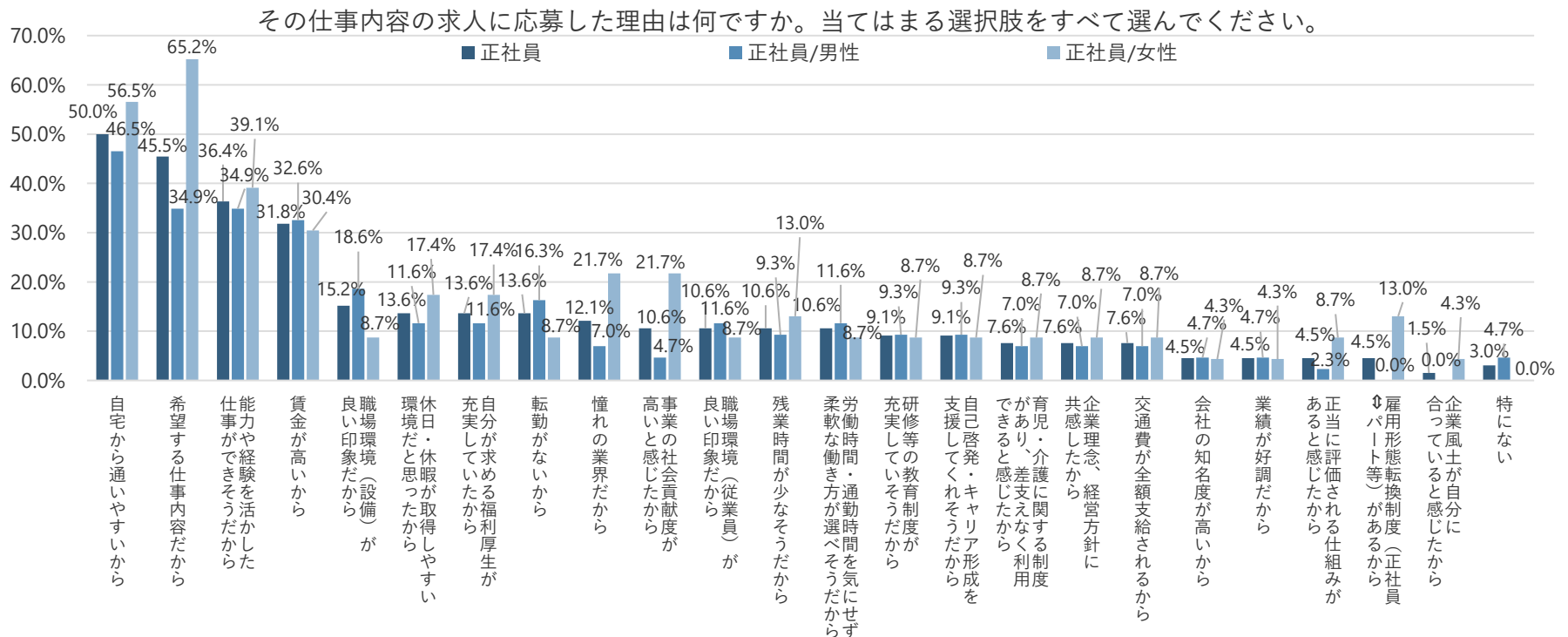


求人に応募した理由（正社員希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。多かったのは「自宅から通いやすいから」が50.0%、「希望する仕事内容だから」が45.5%、「能力や経験を活かした仕事ができそうだから」が36.4%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「職場環境（設備）が良い印象だから」が9.9pt、「転勤がないから」が7.7pt高くなった。決まった事業所での勤務を希望する人が多いようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「希望する仕事内容だから」が30.3pt、「事業の社会貢献度が高いと感じたから」が17.0pt、「憧れの業界だから」が14.7pt高くなった。業務内容や業界のほか、社会に貢献していると感じている仕事探しを進めている人が多いことがわかった。

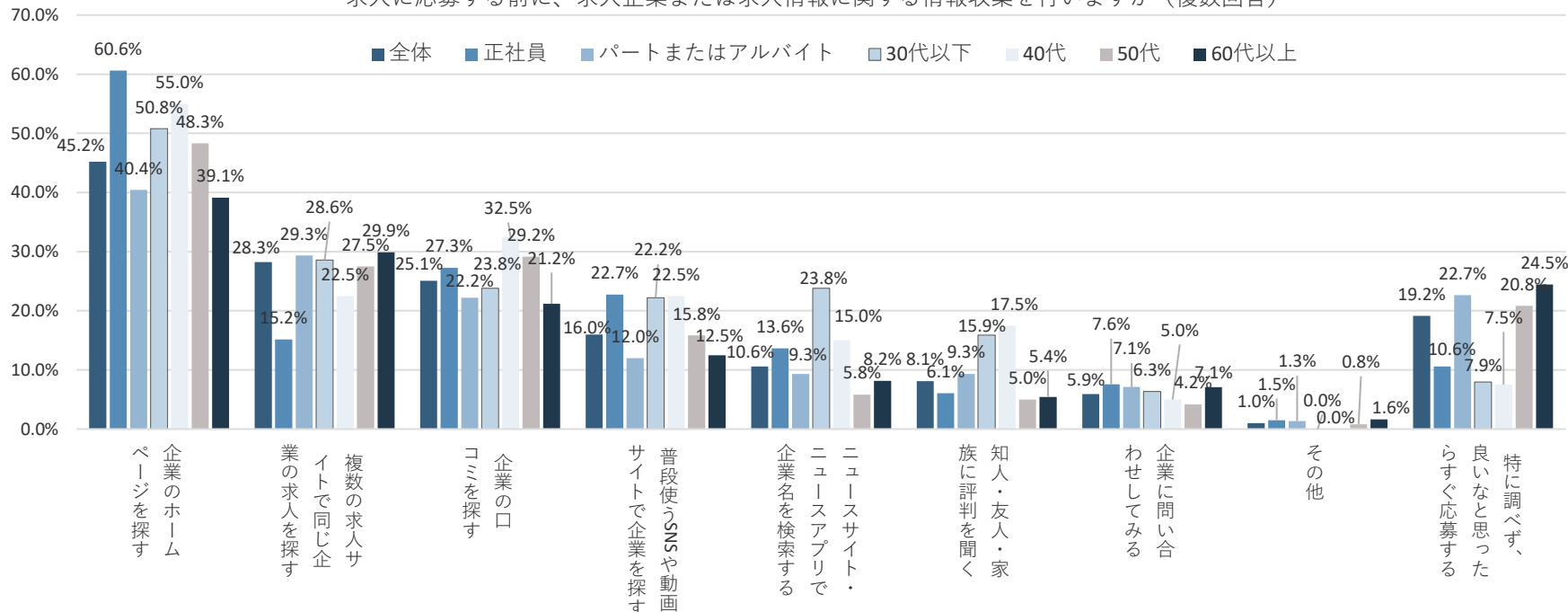


イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、求人に応募する前に求人企業または求人情報に関する情報収集をするかどうか聞いた（複数回答）。全体では「企業のホームページを探す」が45.2%で最多、次いで「複数の求人サイトで同じ企業の求人を探す」が28.3%、「企業の口コミを探す」が25.1%となった。「特に調べず、いいなと思ったらすぐ応募する」人は19.2%で、8割弱の人は事前に何らかの情報収集をするようだ。また、「企業に問い合わせしてみる」は5.9%とあまり選択されないようだ。

希望の雇用形態別にみると、「正社員」を希望する人では「企業のホームページを探す」が60.6%と半数以上となっている。その一方で「複数の求人サイトで同じ企業の求人を探す」事はあまりしないようだ（15.2%）。一方「パートまたはアルバイト」を希望する人では、「特に調べず、いいなと思ったらすぐ応募する」が22.7%で、約2割は情報収集する前に応募にうつるようだ。

年代別にみると、「30代以下」では「ニュースサイト・ニュースアプリで企業名を検索する」が23.8%で、最新の情報を確認する人が他の年代より多い。「60代以上」では「特に調べず、いいなと思ったらすぐ応募する」が24.5%で、応募まで早い人が多かった。

求人に応募する前に、求人企業または求人情報に関する情報収集を行いますか（複数回答）



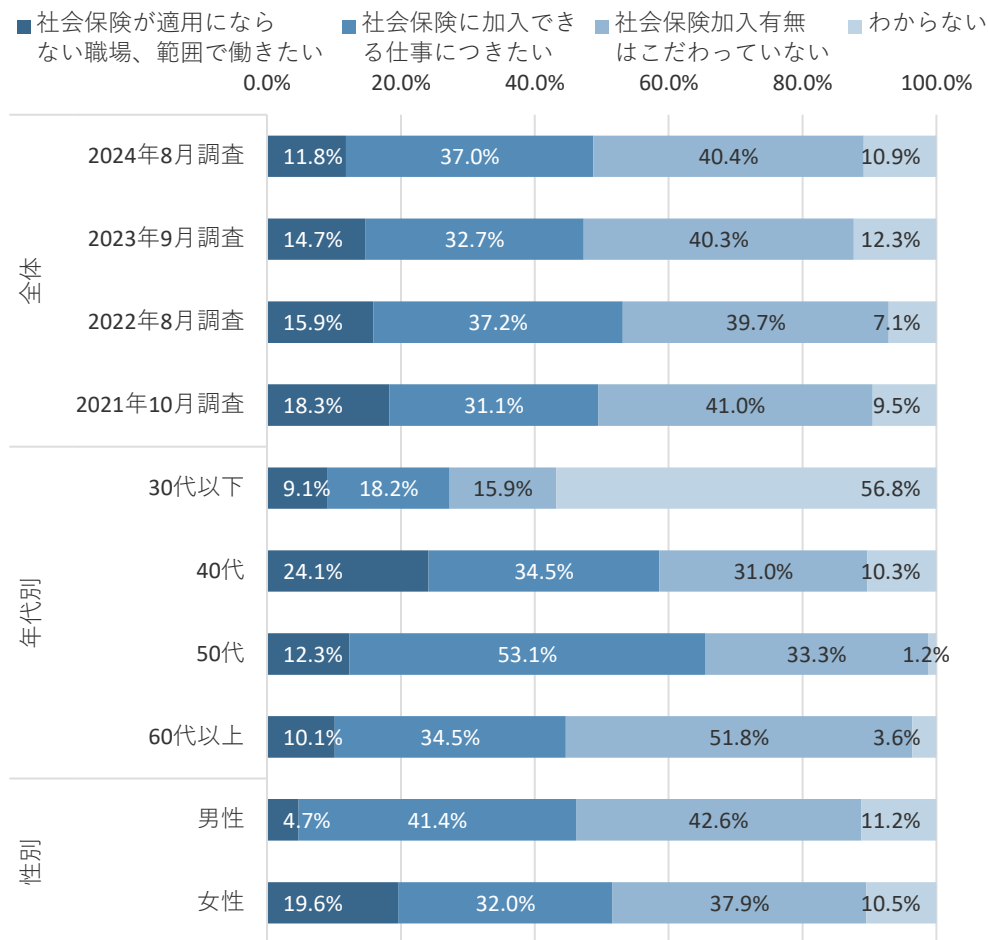
イーアイデムに掲載された求人に応募した人のうち、非正規雇用を希望する人（パート・アルバイト、契約社員または嘱託社員、派遣社員の計）に、社会保険への加入希望をきいた。

非正規雇用希望者全体では、「社会保険加入有無にはこだわっていない」が最も多く40.4%、次いで「社会保険に加入できる仕事につきたい」が37.0%、「社会保険が適用にならない職場、範囲で働きたい」が11.8%となった。同様の調査は2021年から毎年行っているが、年々「社会保険が適用にならない職場、範囲で働きたい」という割合は減ってきている。

年代別に回答結果をみると、「社会保険に加入できる仕事につきたい」は「50代」で最も多く53.1%となり、半数以上となった。一方で「40代」では「社会保険が適用にならない職場、範囲で働きたい」が他の年代と比べ高く24.1%で、就労調整ができる職場が好まれそうだ。「30代以下」では56.8%が「わからない」と回答している。面接時や入社時にはどのような働き方をすると加入・非加入なのか、説明する必要があるかもしれない。

性別にみても、「男性」のほうが「女性」よりも「社会保険に加入できる仕事につきたい」という割合が多いようだ（41.4%）。

非正規雇用を希望する方に伺います。社会保険の加入について、あなたの考えに最も近い内容はどれですか。



「国民年金第3号被保険者」の制度について

イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、国民年金第3号被保険者制度についての説明を読んでもらったのち、この制度についての印象をきいた。説明文は次の下線の通り。

一般的には、会社員の配偶者（第2号被保険者）に扶養されている、年収130万円未満で20歳以上60歳未満の者。自身で保険料負担をせずに基礎年金が受け取れる。

全体では「どちらかと言えば賛成」が44.2%、「賛成」が29.5%、「どちらかと言えば反対」が17.2%、「反対」が9.1%となり、四分之三が好意的な意見のようだ。

属性別にみると、「女性」ではほかの属性と比べて反対意見の割合が多い（30.6%）。第3号被保険者の99%は女性であるが、収入や家族の状況によって左右される部分でもあるため、負担の不公平感から不満が多いかもしれない。

制度制定時から社会情勢の変化もあり、現在廃止の方向で検討が進んでいる制度だが、賛成派の多さから撤廃された時には混乱が生まれそうだ。

「国民年金 第3号被保険者」の制度について、どのように感じますか。

